

<b>科目名：歯科予防処置Ⅱ &lt;歯周病予防Ⅱ&gt;</b>		<b>必</b>	<b>1 単位</b> <b>(45時間)</b>	
( Practice of Oral Prophylaxis Ⅱ < Periodontosis Prevention Ⅱ > ) 履修年次/時期：2 年次 前期                      授業形態：講義・演習 担当教員： 田島小百合（実務経験有）、中向井政子（実務経験有）、劉彦君（実務経験有）				
学修目的	歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために必要な、専門的知識、技術および態度を修得する。 CP 2、3、4、6 に関連する。 科目No. S2C10H11			
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○	
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○	
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○	
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎	
		(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○	
	3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○	
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○	
		(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○	
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP			
	○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	① エビデンスに基づいた知識と技術を修得する。 ② 適切なシャープニングの方法がわかる。 ③ 必要な器材の準備ができる。 ④ 歯・口腔・歯肉の診査ができる。 ⑤ 安全かつ適切な歯石除去の操作を修得する。 ⑥ 安全かつ適切な歯面研磨の操作を修得する。 ⑦ 超音波スケーラー、エアスケーラーの基本操作方法を修得する。 ⑧ 安全な操作のため器材の点検ができる。 ⑨ 安全管理を配慮した行動ができる。 ⑩スタンダードプリコーションに基づいて、感染予防に留意して実施できる。 ⑪ 相互実習を体験し、患者を思いやる心や協力する態度を養い、各自の技術の向上に努めることができる。			
授業概要	1 年次の「歯周病予防Ⅰ」で修得した知識と実技をもとに、歯周疾患の予防のための歯石除去法と歯面研磨法について、安全で適切な操作実技・技術をファントム実習及び相互実習で修得する。 感染症拡大予防のためファントム実習を中心として行う予定。			
評価方法	筆記試験：80%、小テスト・提出物・実習態度等：20% の総合評価 ルーブリックによる評価を併せて行う 試験に対するフィードバックは掲示で行う。			
予習・復習時間	【予習】0.1h 【復習】0.1h			
教科書	『最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版』全国歯科衛生士教育協議会監修：医歯薬出版			
参考書	『最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版』全国歯科衛生士教育協議会監修：医歯薬出版			

	その他随時紹介します。
マイスター 連絡先	田島小百合 16:30~17:00 3号館 2階研究室 tashima@kdu.ac.jp 中向井政子 16:30~17:00 3号館 2階研究室 <a href="mailto:nakamukai@kdu.ac.jp">nakamukai@kdu.ac.jp</a> 劉彦君 16:30~17:00 3号館 2階研究室 ryu@kdu.ac.jp 各教員とも事前にメールをいただくと確実に対応ができます。

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1・2 A(4/10) B(4/9 PM)	【オリエンテーション、スケーラー操作復習・シャープニング】 ① マニキン上でのスケーラー操作に習熟する。 ② シャープニングの意義と方法を理解する。 ③ シャープニングの器材を理解する。 ④ シャープニングの手技を理解する。	[予習] 教科書：P.202～208、.185～202 予防処置Ⅰのプリントの確認 [復習] シャープニング方法を復習する。修得が不十分な点について改善策を考え、練習する。 [キーワード] 砥石、角度、カッティングエッジ	講義・演習 ○中向井 田島 劉
3・4 A(4/17) B(4/16 PM)	【歯面研磨】 ① 歯面研磨に必要な器材を理解する。 ② 歯面研磨の目的と手技を理解する。 ③ 相互スケーリングの手順と注意点を理解する。	[予習] 教科書：P.220～227 [復習] 歯面研磨の方法を復習 [キーワード] 歯面研磨, RDA 値, 歯面研磨剤, コントラアングルハンドピース, カップ, ブラシ, PTC	演習 ○中向井 田島 劉
5・6 A(4/24) B(4/23)	【スケーリング①】（上顎シッケル操作・歯面研磨） ① 必要な器具・器材の準備ができる。 ② 探針を用いて歯面の検査ができる。 ③ 部位に応じたスケーラー操作ができる。 ④ 部位に応じた歯面研磨を適切に実施できる。 ⑤ リスクを管理し、安全に実習を進めることができる。 ⑥ ユニット、器具、材料を衛生的に使用し、管理できる。 ⑦ 患者を思いやる気持ちを持つことができる。 ⑧ 不測の事態(偶発事故)に対しても冷静に対処できる。 ⑨ 清潔域・不潔域の区別ができる。	[予習] 教科書：:P.185～202、220～227 予防処置Ⅰのプリントの確認 [復習] 修得が不十分なところを考えて改善する。 [キーワード] シッケルスケーラー、把持法、適合、レスト、側方圧、医療安全部位別操作、歯面研磨、操作方向、摩耗	演習 ○田島 中向井 劉
7・8 A5(/1) B(4/30 PM)	【スケーリング②】（下顎シッケル操作・歯面研磨） ① 必要な器具・器材の準備ができる。 ② 探針を用いて歯面の検査ができる。 ③ 部位に応じたスケーラー操作ができる。 ④ 部位に応じた歯面研磨を適切に実施できる。 ⑤ リスクを管理し、安全に実習を進めることができる。 ⑥ ユニット、器具、材料を衛生的に使用し、管理できる。 ⑦ 患者を思いやる気持ちを持つことができる。 ⑧ 不測の事態(偶発事故)に対しても冷静に対処できる。 ⑨ 清潔域・不潔域の区別ができる。	[予習] 教科書：:P.185～202、220～227 予防処置Ⅰのプリントの確認 [復習] 修得が不十分なところを考えて改善する。 [キーワード] シッケルスケーラー、把持法、適合、レスト、側方圧、医療安全部位別操作、歯面研磨、操作方向、摩耗	演習 ○田島 中向井 劉
9・10 A(5/15)	【スケーリング③】（上顎キュレット操作・歯面研磨） ① 必要な器具・器材の準備ができる。	[予習] 教科書：:P.185～202、220～227	演習 ○田島

B(5/14)	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 探針を用いて歯面の検査ができる.</li> <li>③ 部位に応じたスケーラー操作ができる.</li> <li>④ 部位に応じた歯面研磨を適切に実施できる.</li> <li>⑤ リスクを管理し、安全に実習を進めることができる.</li> <li>⑥ ユニット、器具、材料を衛生的に使用し、管理できる.</li> <li>⑦ 患者を思いやる気持ちを持つことができる.</li> <li>⑧ 不測の事態(偶発事故)に対しても冷静に対処できる.</li> <li>⑨ 清潔域・不潔域の区別ができる.</li> </ul>	<p>予防処置Ⅰのプリントの確認</p> <p>[復習]</p> <p>修得が不十分なところを考えて改善する。</p> <p>[キーワード]</p> <p>キュレット、把持法、適合、レスト、第1シャンク、側方圧、医療安全部位別操作、歯面研磨、操作方向、摩耗</p>	中向井 劉
<p>11・12</p> <p>A(5/22)</p> <p>B(5/21)</p>	<p>【スケーリング④】（下顎キュレット操作・歯面研磨）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 必要な器具・器材の準備ができる.</li> <li>② 探針を用いて歯面の検査ができる.</li> <li>③ 部位に応じたスケーラー操作ができる.</li> <li>④ 部位に応じた歯面研磨を適切に実施できる.</li> <li>⑤ リスクを管理し、安全に実習を進めることができる.</li> <li>⑥ ユニット、器具、材料を衛生的に使用し、管理できる.</li> <li>⑦ 患者を思いやる気持ちを持つことができる.</li> <li>⑧ 不測の事態(偶発事故)に対しても冷静に対処できる.</li> <li>⑨ 清潔域・不潔域の区別ができる.</li> </ul>	<p>[予習]</p> <p>教科書：P.185～202、220～227</p> <p>予防処置Ⅰのプリントの確認</p> <p>[復習]</p> <p>修得が不十分なところを考えて改善する。</p> <p>[キーワード]</p> <p>キュレット、把持法、適合、レスト、第1シャンク、側方圧、医療安全部位別操作、歯面研磨、操作方向、摩耗</p>	演習 ○田島 中向井 劉
<p>13・14</p> <p>A(6/5)</p> <p>B(6/4)</p>	<p>【パワースケーラー操作 基礎】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 超音波スケーラーについての基礎知識を復習し、基本技術を修得する.</li> <li>② エアスケーラーについての基礎知識を復習し、基本技術を修得する.</li> <li>③ 模型上で超音波スケーラーとエアスケーラーの操作法を体験し、それぞれの特徴を理解する.</li> <li>④ メンテナンスの方法について理解を深める.</li> </ul>	<p>[予習]</p> <p>教科書：P.209～220</p> <p>[復習]</p> <p>超音波スケーラーとエアスケーラーの特徴と利点、欠点、適応と禁忌、基本操作の確認。</p> <p>[キーワード]</p> <p>磁歪式、電歪式、超音波、音波、圧縮空気、使用角度、側方圧、振動数、キャビテーション、エアロソル</p>	演習 ○中向井 田島 劉
<p>15・16</p> <p>A(6/12)</p> <p>B(6/11)</p>	<p>【パワースケーラー操作 超音波スケーラー操作実習およびバキューム操作実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 超音波スケーラーの基礎知識を復習し、基本技術を修得する.</li> <li>② 超音波スケーラーの特徴を理解し、口腔内で安全、適切に操作できる.</li> <li>③ 器械のメンテナンスについての理解を深め、実際に行うことができる.</li> <li>④ 術者、アシスタントとしての適切なバキューム操作ができる.</li> <li>⑤ イリゲーションについて知識と技術を習得する</li> </ul>	<p>[予習]</p> <p>教科書：P.209～220</p> <p>[復習]</p> <p>超音波スケーラーとエアスケーラーの特徴と利点、欠点、適応と禁忌、基本操作の確認。</p> <p>[キーワード]</p> <p>磁歪式、電歪式、超音波、音波、圧縮空気、使用角度、側方圧、振動数、キャビテーション、エアロソル、イリゲーション</p>	演習 ○中向井 田島 劉

<p>17・18 A(6/19) B(6/18)</p>	<p>【パワースケーラー操作 エアスケラー操作実習およびバキューム操作実習】</p> <p>① エアスケラーの基礎知識を復習し、基本技術を修得する。</p> <p>② エアスケラーの特徴を理解し、口腔内で安全、適切に操作できる。</p> <p>③ 器械のメンテナンスについての理解を深め、実際に行うことができる。</p> <p>④ 術者、アシスタントとしての適切なバキューム操作ができる。</p>	<p>[予習] 教科書：P.209～220</p> <p>[復習] 超音波スケラーとエアスケラーの特徴と利点、欠点、適応と禁忌、基本操作の確認。</p> <p>[キーワード] 磁歪式、電歪式、超音波、音波、圧縮空気、使用角度、側方圧、振動数、キャビテーション、エアロソル、イリゲーション</p>	<p>演習 ○中向井 田島</p>
<p>19・20 A(7/3) B(7/2)</p>	<p>【口腔内観察・記録法①】</p> <p>① 必要な器具・器材の準備ができる。</p> <p>② 相互に口腔内の観察を行い、記録ができる。 (歯、歯肉、歯の付着物、沈着物、修復物・補綴物)</p> <p>③ 探針、プローブを用いて歯面の検査ができる。</p> <p>④ リスクを管理し、安全に実習を進めることができる。</p> <p>⑤ ユニット、器具、材料を衛生的に使用し、管理できる。</p> <p>⑥ 患者(学生)を思いやる気持ちを持つことができる。</p> <p>⑦ 不測の事態(偶発事故)に対しても冷静に対処できる。</p> <p>⑧清潔域・不潔域の区別ができる</p>	<p>[予習] 教科書：P133～151</p> <p>[復習] 修得が不十分なところを考えて改善する。</p> <p>[キーワード] 硬組織の状況、歯周組織検査、プローピング、エキスプローピング</p>	<p>演習 ○田島 中向井 劉</p>
<p>21・22 A(7/10) B(7/9) )</p>	<p>【口腔内観察・記録法②】</p> <p>① 必要な器具・器材の準備ができる。</p> <p>② 相互に口腔内の観察を行い、記録ができる。 (歯、歯肉、歯の付着物、沈着物、修復物・補綴物)</p> <p>③ 探針、プローブを用いて歯面の検査ができる。</p> <p>④ リスクを管理し、安全に実習を進めることができる。</p> <p>⑤ ユニット、器具、材料を衛生的に使用し、管理できる。</p> <p>⑥ 患者(学生)を思いやる気持ちを持つことができる。</p> <p>⑦ 不測の事態(偶発事故)に対しても冷静に対処できる。</p> <p>⑧清潔域・不潔域の区別ができる</p>	<p>[予習] 教科書：P133～151</p> <p>[復習] 修得が不十分なところを考えて改善する。</p> <p>[キーワード] 硬組織の状況、歯周組織検査、プローピング、エキスプローピング</p>	<p>演習 ○田島 中向井 劉</p>